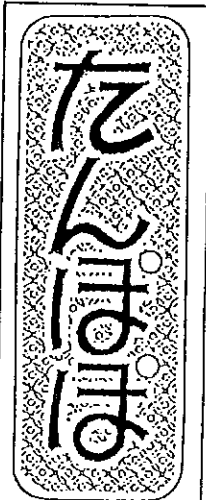


お母さんとの約束

理事長 田中 稔

園生のお母さんが48才の若さで病気の為、亡くられました。十数年前、ある親の会の会合の隅にそっと座っておられるのを見掛けたのがその方との初めての出会いでした。いつも微笑を絶やさず、それでいてしっかりとした意志を持っておられた様です。

障害児を持った親は、障害児であるという事が分かったその時から、子供の将来の事、大人になった時の事、親が亡くなった後の子供の安住の場を考えます。親の会の中で、子供が小学校から中学校へと進むに従って義務教育終了後の子供達の生活の場を求めて親達が集まり始めました。十数年前の事です。



NO.46

H3.3.31
—発行—

〒869-12

熊本県菊池郡

大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

TEL096

293-8100

日本で初めて成人自閉症者の生活の場を、三重県の「あすなろ学園」を卒業した子供の親たちが集まって資金を作り土地を購入し作りました。それが「あさけ学園」です。このあさけ学園の親たちの作った施設の作り方が（あさけ方式）として以後の全国の自閉症者施設の作り方のモデルとなりました。

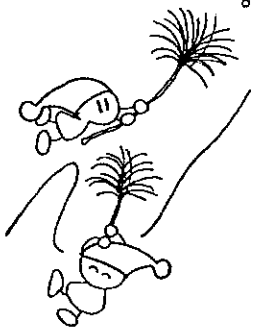
熊本の親たちも当初、このあさけ方式で施設を作ろうという意見でしたが各人の資金の負担等の事もありなかなかまとまりそうにもありません。お金は出したくないが施設は欲しいという人が大部分でした。一人一人と抜けていきました。その中で亡くなられたお母さんは黙ってついて来られた方の一人でした。2、3人となった

会合の時も黙って座っておられました。そうするうちに段々、私は一人で出来るだけはやってみようと強く思う様になりました。

私の頭はあまり論理的ではありませんが、情熱と意志の強さと持続性は人には負けないと自負しています。

《至誠天に通ず》だけを信じて顔付きが変わる程の時間がたちました。色々の人との出会いの中から「三気の里」は出来ました。

黙ってついて来られたそのお母さんの子供さんも入所され、園での生活ぶりを見て頂き、口には出さない約束を果たしたと思いました。「三気の里」がなかったらどれ程の思いを残して亡くなられたかと思うと、このお母さん一人の為に施設を作った想いが報われたと思いました。



療育シリーズ

立場

園長 土井尚典

私の母と弟と妹は東京で三人で住んでいる。一月の末頃難しい名前の目の病気で母が入院することになった。弟は独り者で、妹は精神遅滞でてんかんがある。そこで妹は熊本の我家に来ることになった。入院して1ヵ月位すれば元の暮らしができるとのことであった。母の一大事であるし、私は長男という事もあり1ヵ月ぐらいなら良いだろうということで引き受けた。ところが入院が長引き、退院してもすぐには動けないことが分かって来た。私の悩みが始まった。私は仕事に行つて家に余りいない。いつも一緒にいるのは妻や子供である。1ヵ月頑張る事とこれからズーッとでは心構えや生活空間の準備がいる。また、生活のリズムも違うし他人行儀でもやって行けない。妻や子供は何も言わないが、

想像を越えた不安が妻や子供に有ることだろうと思うと済まないという気持ちで頭の中を駆け巡った。

私には家族のオヤジとしての立場がある。母の子供としての立場があり、妹の兄としての立場がある。どれも大事である。妻にも幾つかの立場がある。しかし、妻の立場を守つて行く事は見落とされがちになる。例えば、私が母や兄弟に厭なことも何でも話せるようなことが、なかなかできない。妻を向こうに押しやつて親兄弟同士で話し合われることが多いからである。そうしていかないつもりでも結論を伝えることが多いからである。結局は妻を無視しているのである。このことを障害者を家族にもつ友人に相談してみた。彼も苦しんだ経験があり、兄弟縁者を前にして、「俺のことは良いから俺と付き合うなら女房を立ててくれ」と頼んだそうである。「女房には親兄弟をとるかお前(女房)をとるか」と聞かれたら、どっちも

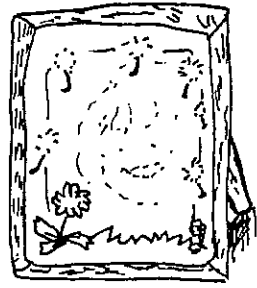
大事だ、答えられん(答えられない)と言ったそうである。凄いなーと感動してしまった。

障害者には男の兄弟より女の兄弟(姉妹)が良いと聞くし、私も賛成していたが、違う事が私の経験からよく分かった。男女を問わず兄弟の重荷は想像以上に重いものだという事である。更に兄弟に障害者がいると承知で結婚して行く人も同じ重荷をしょつていくことである。本人達はそんなことを言わないかも知れないが、きつとそうだと思う。死んでしまいたいような葛藤が何度かはあることだと思ひます。

自分ではよかれと思つてしたことが妻の立場や心を無視してしまつ



たことがたくさんある。障害者が兄弟にすることはつらいことではないかも知れないが、お互いの立場を親兄弟にも大事にしてもらうよう努めなければつらいことになるかも知れない。自分の立場はよく見えるけれども、相手の立場を私はよく見落とします。反省！



愛護

体育実技研修会

田之上健一

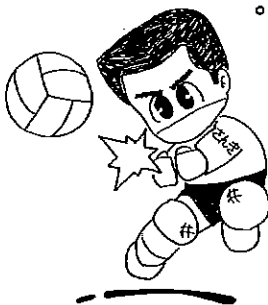
去る3月7日(木曜日)に愛護の冬季体育実技研修会が催されました。我が三気の里も、ミニバレー2チーム、バトミントン4チームと過去最高のエントリーとなり職員も燃える闘魂がひしひしと伝

わる程でした。

組み合わせ抽選では、私、田之上がミニバレー1番くじを引き、三気の里が選手宣誓をする事になり、おまけにバトミントンでも1番くじを引くというどのみち選手宣誓は避けられない運命だったのだと確信してしまいました。当日の選手宣誓は「私がやりましょう」と快く引き受けてくれた、元気印の末永事務長お疲れ様でした。と同時に感謝します。

職員は、この日の為に日夜練習に励んで頑張りました。その中で、ミニバレー三気Bチームの健闘は輝かしいものがあつたと自負してしまいます。決勝トーナメントまで残ったのは開所以来初めての事で職員も興奮してしまいました。しかし、運もここまで、やっぱり実力が身につかないと難しいものです。しかし、試合で頑張れた原動力の一つに、園生の応援もあつたのは確かでしょう。「次試合？頑張ってるね」等と声を掛けてくれ

たり、試合コートの所まで来て、「頑張れー」と叫んだりと力一杯の声援でした。相変わらず調子が良いのが職員で「オー」と答えながら実に賑やかなものです。というか、ただうるさいだけなのか周りの迷惑省みずとはこの事です。まあ元気が良いのはいい事です。朝早くから、朝食を作ってみんなを送り出してくれた厨房さん、園生のお世話をしてくれたボランティアさん、頑張ってくれた職員皆さん、お疲れ様でした。忙しい一日でしたが、すがすがしい一日になった様です。今度も楽しくやりましょう。



日曜日、お昼は決まってお弁当。ちよっぴり寂しい食卓だけど、聲君は割箸を割れるようになったよ



2班 楽しかった山登り

3月14日、ひそかに雨が降る事を祈ったのですが、願いは空しく天気恵まれ登山決行となりました。登山は今回3回目。リュックを準備すると山登りという事がわかる様で、中には『行きたくない』とリュックを投げる園生も。しかし、山に着き登り始めると、さすがは3回目だけあってみんな足取りも軽く力強く登る事が出来ました。頂上では、お弁当が風に飛ばされそうになったり土が入ったりと大変な事もあったのですが、初めて山登りが楽しいと感じました。(距離が短かった事もあるのですが…)

最後に、山登りに参加して下さった甲斐さん、どうもありがとうございました。
橋本

3班 暗闇から今日は

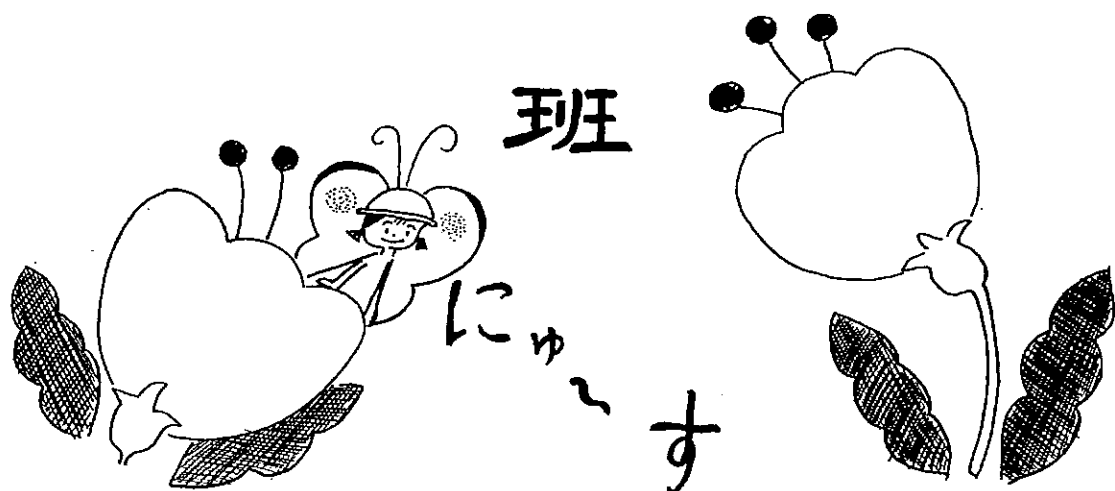
先日、再春館製薬様より、かわいい椎茸の原木(菌打ち済み)を100本戴きました。早速、木工室の裏に柵で囲ったかわいい原木置き場を作りました。スペースを広げようとして土手を削ってちょっと他班の職員から怒られましたが…まあいい…暗くて、じめじめした場所が好きな椎茸の為に笹をたくさん敷いたり、立てたりして木陰、いや、基、笹陰を作りました。高さ1m、幅70cm、全長2mの原木置き場の中に入っていくのは、腰が痛いのですが、木の中から“によきによき”と傘を出して大きくなっていく木のこを見るのは、とてもわくわくします。忘れん坊の職員は中に入っては“落ち着くねえ。”と原木になりきって、毎日、水まいたり、観察しています。

“椎茸よ、早〜く出て来い!”…職員も。
大塚

冬眠から目覚める4班

寒〜い寒〜い冬からようやく脱出といった所で、日中は、ついうとうと眠りたくなるような陽気になってきました。いよいよ4班活動開始です!冬の間を整地を行った畑も植え付けを待つばかりとなりました。苗作りも去年の失敗に負けじと、再度挑戦です。ビニールハウスの中にはキューリやスイカ、キャベツ、ナスなどの芽が、どれもこれも可愛らしい二葉を付けています。現在、植え付け準備(堆肥まき)に追われています。又、数名の園生が園外作業として苗木植えの手伝いに出掛けています。

ますます、忙しくなる4班ですが“ふんどしを締めなおして頑張ろう”と女性の私が言ったら変かな?!
山中



1 班 雨女 VS 晴れ男

毎日、雨が降ったり晴れたりと変な天気が続くこの頃、1班のみんなが待ちに待ったレクリエーションの日、今回は通潤橋見学という事でこの日のレクリエーションの企画者Mは、朝から暗い表情である。外を見上げては、溜め息をついている、みんなの顔をみるのがつらい。その理由は…。Mがレクリエーションを企画すると雨風が吹き、ひどい時は雪が降るのである。園長の『僕が行くと晴れる』のハゲましに傘を片手にニッコリほほほほ笑い出発、ところが矢部に着く頃には晴天となり少々風が強かったのですが、嫌がる園長を通潤橋の途中に引き留めて『ハイ、ポーズ』みんなのまぶしそうな顔。やっぱりお天気が良いと気持ちいいですね。雨女脱出できるといいのに…by 雨女。

p. s. 矢部町の上田さんお世話になりました。

伊石

5 班レクリエーション

5班レクの実施にあたり、松島・宇都宮さんに「今日のレクはどこに行きたいですか」と尋ねたところ、松島さんが開口一番「ご飯と風呂」に行こうかと答えたので、宇都宮さんにも同じことを聞いてみたら「飯と風呂」に行こうかと言うので決めることにしたが、何を食べるかがそこで問題になり、メニューを思い付くまま上げているうちに松島さんが「うなぎがよかばい」というので、宇都宮さんに「うなぎは好きですか」と尋ねたら「うなぎ食べるばい」と答えたので夕食は“うなぎ専”、風呂は“ゆうゆう健康ランド”に決定した。楽しみにしていた5班レク当日5人でドライブしながら目的地に到着しうなぎ定食を無言のうちに食べ終え、ゆうゆう健康ランドで汗を流し、2人共に満喫した顔付きで帰路についた。来月のレクを楽しみにしている松島・宇都宮さんである。

末永



入園に際して

藤本栄之助

子供を旅立たせる親はいつも希望と哀しみの混じった複雑な気持ちである。既に2人の子供達を巣立たせていたので、私達の心構えは出来ていたつもりだったが、由布子との別離には万感胸にせまってきたとても悲しかった。

木枯らし吹く夕べ、みぞれが窓を打つ夜、由布子は今頃どんな想いで過ごしているのだろうかと考えると、やりきれない気持ちになった。

しかし帰宅日に迎えに行くと、明るい笑顔で私達の所に走り寄って来て、再会を喜びあえるのがまた楽しみである。

由布子はとても歌が好きで、小さい頃から『小鳥はとっても歌が好き、かあさん呼ぶのも歌で呼ぶ』などと歌っていた。最近新しい歌を憶えたらしく、『いつまでも

愛したい、どこまでも愛したい』と歌うようになった。

由布子の私達へのメッセージがこの歌に込められていることにハッと気付き、私達もまたどんなに遠く離れていても、いつまでも由布子のことを想い続けて行きたい。

ひなまつり

今村由紀



平成3年3月3日曜日、三気の里のたんぼぼの部屋の壁には、すてきなおだいら様とおひな様の姿がありました。その横には、さゆりちゃんを作ったおり紙のひな人形三段飾りがあります。たんぼぼの部屋中に桃の花が咲き乱れている様な気分になりました。

ひな祭りは女の子の節句ですが、三気の里では男の子も一緒に、甘酒とひなあられでささやかなお祝いをしました。ステキな女性になります様にお願いながら…。

合良堂営業中

「いつでも食堂営業中」

暖かくなり、朝起きるのがあまり苦にならなくなった…。にもかかわらず、相変わらず朝寝坊して朝食の支度をしている事務員がいる。いばって言っている場合ではないが、『おいしいごはん作ろう』と結構こだわっている。

さて、三気の里の職員は、自信家とこだわり屋が多いのです。ある日の朝、厨房職員は風邪でダウンしてしまいました。そこで助手人S指導員とT指導員は、自慢の腕を奮って見事夕食までをやったのけ、どんなもんだい。また、ある日曜日、いつもより少しは人数が少ないけど一人でプロ顔負けの本格派天ぷらそばを作った事務長。三気の里の食堂は、いつでもどんな時でもみんなの協力で営業中です。

多田



ぼらんていあ通信

いつも三気の里に来て皆の歯を診て頂いています歯科衛生士の森さんの話です。

三月二十日、水曜日の夜のことです。森さんは検診の道具、プラスチックはッお泊まりッの道具をもって幾分、緊張した面持ちでやって来られました。泊まられるのは、今日が初めてです。8時から園の皆の歯の検診をされ、9時には、就寝の準備を手伝って頂きました。そして2時過まで皆の寝言を聞いたり、職員と談笑して過ごされたそうです。

次の日、一日泊まられた率直な感想をお聞きしました。

少々、夜勤で苦労されたことなどを話された後、「思っていたより、皆がおとなしく寝ているので驚きました。またこうして遊びにきます。・・・その後、「すり減った体力を、リポビタンDで回

復させたら又来ます。」と言って、ほほ笑みながら園を後にされました。

また、暇・そして体力がある時には是非TRYしてみてくださいね。皆で心待ちにしています。

坂本信

ボランティアありがとうございます

森 隆子さん

甲斐 芳恵さん

宮崎 直子さん

松岡 しのぶさん

坂本 孝子さん

四宮先生(刺し子指導)

東先生(木工教室)

光永さん(木工教室)

天使園のみなさん

木工教室

坂本信子

職業訓練校の東先生が、2月から三気の里に来られる事になりました。その教え子にあたられる光永さんという方も一緒に、月に2回程の割合で(主に3班職員のために)木工教室が行われています。私は、この教室に2回参加しました。一回目は基本的な話して、板の反り方や、裏、表の見方、道具の説明などでした。2回目は、その道具の使い方、主にカンナについてで刃の研ぎ方、手入れの仕方を教えて頂きました。

ここで私事になるのですが、それまでの私といえば、板の表と裏(又は征目)の区別がつくどころではなく、その名称が存在するということさえも知らずに過ごしてきたのでした。したがって、ノミを打てばパカッと木が割れ、クギを打てば作品の分解、カンナで削ればそれまで以上のガザガザが出てくる。・・・こんな職員がいて

開園祭開催

4月28日(日)午後1時より
ボランティア大募集

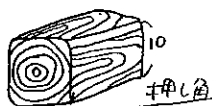
4月の行事予定

1(月)	11(木)1班レク 誕生会	21(日)
2(火)	12(金)	22(月)
3(水)体重測定	13(土)帰宅日 保護者会	シャツ交換 23(火)
4(木)2班レク	14(日)	24(水)
5(金)	15(月)防災訓練	25(木)4班レク
6(土)療育相談日	16(火)	26(金)大掃除
7(日)	17(水)	27(土)シャツ交換
8(月)入園式	18(木)3班レク 誕生会	28(日)開園祭
9(火)	19(金)	29(月)G.W.(5/6日)
10(水)	20(土)療育相談日	30(火) ↓

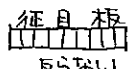
よくスノコとかいう製品ができていたなど、今になって思います。只々、園生の皆の器用さに感謝しています。

こんな私でも先日あった作業棟の棟上げのおり、「この板はねえ。こっちが表でこっちが裏。」と、なにやら復習のように独り言を言っていますと、そこにおられた大工さんが、「木の、裏と表がわかるようならたいしたもんだ。」と言われ、少一しは成果があったかなと思ひ、嬉しかったです。

東先生、私を筆頭の(うつつ)まだまだだの3班職員ですが、最後までよろしく願います！

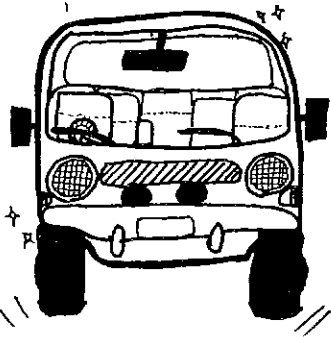


一本の木の柱が
とれる!!



のん気号がやってきた
新春1月10日、三気の里に「N EWのん気号」がやってきました。先代同様みんなの夢を乗せ、楽しく走り回ってくれそうです。みんなで大切にしようね...!

東



編集後記

熊本市魚屋町の都甲様より久木野村の山をご提供戴き、のこぎりで木を切ったり、竹を切ったりと楽しく作業に取り組んでおります。お世話になります。

ここで悲しい知らせです。ご父兄の橋村碧様が2月28日お亡くなりになりました。ご冥福をお祈り致します。

浮